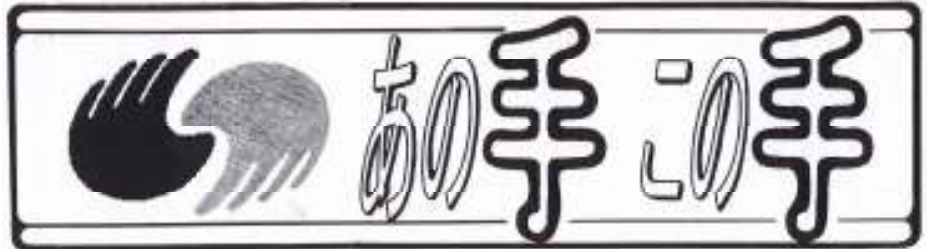




夕焼け小焼けの赤とんぼ～
夕焼け空に染まったのかなーアキアカネー



大和市民活動センター[拠点やまと] 第32号 2009年9月20日発行



題:「自然を守ろう」

第2回やまと国際アートフェスタは来月です。

2009年 10月24日(土)～25日(日) 2日間

イオンモール大和ウォーターコートにて開催

今回のテーマは「私のたからもの」。

問い合わせ: やまと国際フレンドクラブ (IFC)

電話: 046-260-5126

事務局代行/財団法人大和市国際化協会

E-Mail: ifc_yamato@infoseek.jp

7、8、9月号の表紙絵は、2008年開催の第1回やまと国際アートフェスタ(テーマ「まもりたいわたしたちの地球」)で入賞した作品を掲載しました。

本号の表紙は(社)大和青年会議所賞を受賞したヴェトナム出身のグエン・ホン・ニュンさん(当時は光丘中3年生)の作品です。(絵の中に「自然を守ろう」の文字が描かれています。探してみてください。)

* 大和市民活動センターのH.P.ではカラーでご覧になれます。

協働事業がひろがっています ～平成21年度協働事業に関する検討結果報告会～

協働事業提案に対する検討結果報告会が8月27日(木)午後3時から大和市役所会議室棟で行われました。

協働事業提案13件はすべて「協働事業として推進する」という市長からの検討結果が報告されました。

6月13日(土)の提案発表会、調整期間、7月11日(土)の意見交換会、協働推進会議からの答申というプロセスを経ての「結果報告」の日になりました。

協働事業の実施に向けて各団体からの抱負が語られましたが、某団体の「これまでボランティア活動での閉塞感を持っていましたが、これからワクワクしています」との発言に、想いが受け止められたうれしさと覚悟を感じました。(拠点やまとと会長 関根孝子)

*大和市民活動センターのH.P.の「トピックス」に詳しく掲載しています。

<送付の際、同封されているご案内>

- ・第4回市民活動団体交流まつり <カッコーフェスタ'09>のお知らせ
- ・第24回連続共育セミナー「Wordで広報紙をつくりたい」のお知らせ

第81回 ~学校では体験できないこと~

8/18(火)＜夏休みボランティア体験

「このゆびとまれっ！」参加者>

「FMラジオを作ってお年寄りにプレゼントしよう」に参加した大和中学一年生のS子ちゃんが、ラジオ作りの細かい作業内容や完成してからの充実感などを話しました。この夏、中高生が「サウンドテーブルテニス」(視覚障害者との交流)に参加して、その後交流が生まれたこと。ワン・ピース(知的障害児の居場所)の子どもたちと段ボール遊びや絵を描いたりしながら、子どもたちを理解しようと一生懸命ふれあったことなどが話されました。この体験を大切にしてほしい、とスタッフの願いも語られました。

第82回 ~共に育ちあう交流の場を~

9/1(火)＜拠点やまとメンバー>

第1回「大和市民活動センター登録団体交流会」を8月22日(土)に大和市勤労福祉会館で開催しました。「お互いの活動を知りたい、活動している人たちと知り合いたい」という意見をもとに、22団体総勢71名の参加で活動の悩みなどを話し合いました。お互いの共通点を見つける名刺交換やファッションショー・阿波踊りのフィナーレの様子、聞くことから発言が生まれて本当の意味での交流がもてましたと、望月、石川が報告しました。

第83回 ~音楽は身体全体で感じる~

9/15(火)＜音楽療法 なごみの会>

神奈川を中心に13名の音楽療法家が会員となり活動しています。さまざまな対象者に音楽で接して行くには音楽療法理論や医学、リハビリテーション、社会学、福祉全般など身につけなければならない知識が山ほどあります。とても一人ではこなさきれません。そのために仲間同士で知識と経験を共有し学び合う会として4年前に発足し、月に1度大和市民活動センターの会議室で勉強会を続けています。音楽療法で使用する効果音を出すための工夫や手作りの道具を紹介した後、ジョニーさんも参加してトーンチャイムという楽器を使い「故郷の空」を4人で演奏しました。



「ホッとスクランブル」は再放送が2回あります。当日の15:00~15:50 22:00~22:50 9:00からの生放送を聴きのがした人は再放送をお聴きください。

＜これからの出演団体＞

- 第84回 9/29(火)夢わかさ連
第85回 10/6(火)大和市録音奉仕会

ラジオを聴いたら感想をFAX、メールで[FMやまと]へ。放送中に読まれるかも?

FAX :046-265-2777
E-mail :morning@fmyamato.co.jp

やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた

ボランティア学生を見ると、関心すら無かった自分と比べてしまう。友達との会話にも出てこなかった。学生に教えられる”心のゆとり”。(望月則男)

鶴間から川沿いの遊歩道を通り町田へ。白サギが舞い降りてきて、視線が合うことしばし。何かいいことがと宝くじを買う。もしや...(村山真弓)

九月は、栗きんとんの発売月で、この時期のみの菓子で、茶の湯では脇役として、茶席ではでしゃばらず、粋人をうならせる菓子です。(松村襄)

市制50周年記念事業のイベントがたくさん。サッカー「なでしこリーグ」はメディアで馴染の選手が大勢登場。観戦を楽しめた。(浅見正明)

夏の味覚に魅了され顔が丸くなってきてしまいました。今年は食欲の秋は封印。1年ぶりに体重計が復活しました。(中山みゆき)

熱血編集後記



秋の夜はジャズがいいね。

小生、大和市認定セミの抜け殻鑑定士中級というレアな資格保持者。「つるま自然の森」でニイニイゼミの抜け殻を今夏見つけられず。「森」が乾いてきたか。(小杉皓男)

登録団体の劇を観ました。センターで二人で特訓するはずだったのに大雨で中止になった絡みの部分、観ている私にも力が入りました。面白かった~(関根孝子)

この夏、中高生がボランティア活動に参加しました。障害児・者とのふれあいの中で理解することの大切さを感じて、これからも交流を続けていってほしいと願っています。(櫻井貞代)

風土に生かされた酪農の実践をしている北海道の三友牧場を訪ねた。1haに親牛1頭が適性。農業の効率と生産性の効率は違うという。そこには豊かな暮らしがあった。(石川美恵子)

*今月号の用紙はコスモス色。たくさんのコスモスが風になびくさまは、いかにも秋の風情です。

「あの手 この手」第32号 発行日・2009年9月20日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月~土 9:00~18:00> 〒242-0021 大和市中中央 1-5-1

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
E-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokiyoten.com/